

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
体育（男子）	国際交流科	2	3・2		ステップアップ高校スポーツ2015(大修館)

科目の到達目標	各種の運動を通し体力の増強をはかると共に、規則を守り仲間と協力し自己の責任を果たす態度を身につける。また生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体や仲間の体の状態や変化に気づき、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>運動特性に応じた学び方や安全の確保の仕方について理解する。</li> </ul>
	5	陸上競技	短距離走 走り幅跳び 持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の基本である走・跳・投の3つの運動においてバランスよく体力を向上する。</li> <li>基本的ルールを理解するとともに技術を上達させ、記録を向上させる。</li> </ul>
	6			器械運動
	7	体育理論	運動・スポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツの技能の上達過程と練習について理解する。</li> <li>効果的な動きのメカニズムについて理解する。</li> </ul>
二	9	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体や仲間の体の状態や変化に気づき、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>運動特性に応じた学び方や安全の確保の仕方について理解する。</li> </ul>
	10	柔道 球技	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団スポーツの特性を理解する。</li> <li>基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を習得する。</li> </ul>
			バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団スポーツの特性を理解する。</li> <li>基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を習得する。</li> </ul>
			柔道	<ul style="list-style-type: none"> <li>礼儀作法を含めた基本動作を習得する。</li> <li>基本的な投げ技とその安全な身の処理の仕方（受け身）を習得する。</li> </ul>
12	体育理論	運動・スポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能と体力、体カトレーニングについて理解する。</li> <li>運動やスポーツでの安全の確保について理解する。</li> </ul>	
三	1	体づくり運動	体ほぐし運動 体力を高める運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体や仲間の体の状態や変化に気づき、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>運動特性に応じた学び方や安全の確保の仕方について理解する。</li> </ul>
	2	球技	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団スポーツの特性を理解する。</li> <li>基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を習得する。</li> </ul>
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能	運動や健康・安全についての知識・理解
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、生活における運動の意義、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
◎評価の方法				
「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発言や取り組む姿勢、スキルテスト、出席状況を総合して評価する。				